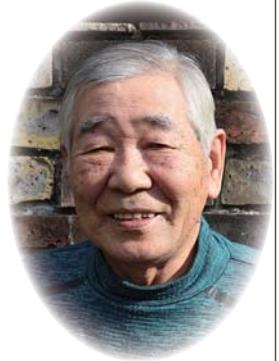


# 四季

## 春の日に

「かやぶき屋根」の家にも春が来ました。おばあちゃんが針刺しを立て日当たりの良い縁側で繕い物をし、側で猫が毛繕いをしています。庭ではニワトリが「コッコ、コッコ」と首を振って遊んでいます。そんな光景が昔はどこでも見られました。



かやぶき古民家といえば、地方により形や大きさなど色々な特徴があります。その中で今後残る可能性のあるものとしては、世界遺産となった岐阜県白川郷・富山県五箇山の合掌造り集落、福島県奥会津大内宿の古民家群、京都府南丹市美山のかやぶきの里などの観光地となっているところ。またはほんの一部の商業施設や自治体による保存目的のものなどに限られています。一般的にどこでも見られた光景は、私たちの記憶からもやがて失われていくものと思われます。こんな素晴らしい風景を作り上げた先人の文化がいつまでも私たちの心の中に残ってほしいと思っています。

私はそんな懐かしい古民家を、ミニチュアで立体的に作ってみたいと考えました。とはいえる指示を仰ぐ先輩も資料も見つけることが一切できませんでした。従って全部が自己流であり、自己満足の物です。子供の頃の「かやぶき屋根」の記憶をもとに、割り箸を切って柱や梁<sup>はり</sup>を作り、厚紙を切って壁を作り、かやぶき屋根には川原に生えている葦<sup>あし</sup>のススキを使って古民家風の物を作りました。庭木等は枯れ草や実を使い、ペンキで色付けして木の感じを出しました。私の作品は全部が自己流であり、感じるままに作りました。



西多摩の平野部にある古民家



春を感じる藤とかやぶき屋根



関東地方の一般的な古民家

私の遊びの結果は、多西支店内に展示させていただいている。気が付いたことがありましたら教えてください。

文： 富山 一さん(多西地区)